

みずほCustomer Desk Report 2022/07/06 号 (As of 2022/07/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	136.15
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	135.85	1.0434	141.75	1.2109	0.6872
SYD-NY High	136.36	1.0449	142.36	1.2125	0.6895
SYD-NY Low	135.53	1.0236	138.95	1.1899	0.6762
NY 5:00 PM	135.88	1.0265	139.48	1.1959	0.6800
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,967.82	▲ 129.44	日本2年債	▲0.0600%	0.0100%
NASDAQ	11,322.24	194.39	日本10年債	0.2200%	0.0000%
S&P	3,831.39	6.06	米国2年債	2.8205%	▲0.0175%
日経平均	26,423.47	269.66	米国5年債	2.8228%	▲0.0606%
TOPIX	1,879.12	9.41	米国10年債	2.8172%	▲0.0713%
シカゴ日経先物	26,290.00	▲ 70.00	独10年債	1.1840%	▲0.1500%
ロンドンFT	7,025.47	▲ 207.18	英10年債	2.0480%	▲0.1480%
DAX	12,401.20	▲ 372.18	豪10年債	3.6090%	0.1020%
ハンセン指数	21,853.07	22.72	USDJPY 1M Vol	13.20%	▲0.05%
上海総合	3,404.03	▲ 1.40	USDJPY 3M Vol	12.59%	0.02%
NY金	1,763.90	▲ 37.60	USDJPY 6M Vol	12.08%	0.07%
WTI	99.50	▲ 8.93	USDJPY 1M 25RR	▲1.63%	Yen Call Over
CRB指数	278.16	▲ 13.66	EURJPY 3M Vol	13.80%	0.59%
ドルインデックス	106.54	1.40	EURJPY 6M Vol	13.33%	0.58%

東京	東京時間のドル円は135.85レベルでオープン。バイデン政権による対中関税の一部撤廃期待等もあり寄り付いたアジア株が堅調に推移したことや、発表された中国の経済指標が強い結果を示し、リスクオン地合いが高まると、クロス円とともにドル円は136.36まで上昇する展開となった。午後に入り、上昇が一服すると136円台前半で方向感なく推移し136.12レベルで海外時間に渡った。尚、東京時間13時半過ぎに発表された豪政策会合では、市場予想通り2会合連続でキャッシュレートを50bp引き上げたものの、Sell the factの動きからAUD円は93円台前半まで下落した。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は136.12レベルでオープン。欧州株や米長期金利が低調に推移した事を背景に一時は135.57まで値を下げるも、その後、リスク回避ムードにユーロやボンドが売られ、ドル円は135.97レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場ではこの冬のエネルギー不足問題や、ガス調達コスト高騰でデフォルト懸念が強まっている独エネルギー企業の救済案を法案に盛り込むとの報道を受け、ユーロが大きく下落。ユーロ円の下落を受けてドル円も135.57まで下落し、135.97レベルでNYオープン。朝方は米5月製造業受注、並びに5月耐久財受注が予想を上回ったもののドル円の反応は限定的となり、方向感の無い値動きが続くが、低下していた米金利が一旦下げ渋る展開にドル円も136.10まで戻す。しかしその後再び金利が低下する展開に135.53まで下落。午後は、方向感の無い狭いレンジでの推移が続き、135.88レベルでクロスした。一方海外市場のユーロドルは、欧州景気悪化とインフレ高が意識される中、独エネルギー会社のデフォルト懸念も強まり、2002年以降の1.0300を割り込み1.0281まで下落し、1.0296レベルでNYオープン。朝方は1.0290付近での推移が続くが、独政府が経営難に陥っている独エネルギー企業の株式を最大25%取得するとの報道もあり、ユーロドルは上値を重くし1.0236まで下落。午後は調整からやや買い戻されるものの上値は重く1.0265レベルでクロスした。

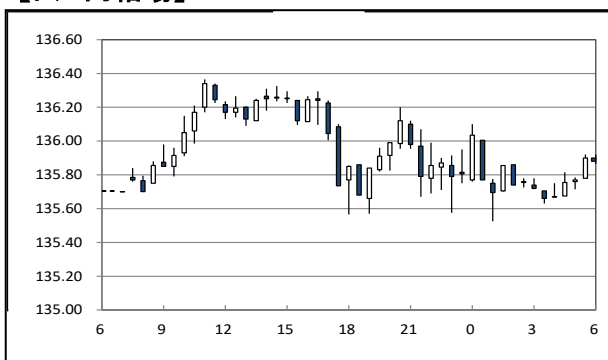
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月5日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	7月	1.35%
	23:00	米 製造業受注(前月比/除輸送)	5月	1.6%/1.7%
	23:00	米 耐久財受注(前月比/除輸送用機器)	5月	0.8%/0.7%

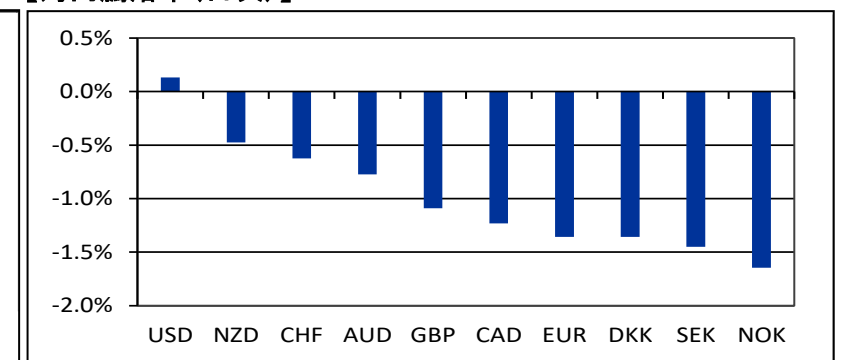
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月6日	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	5月	0.4%/-0.3%
	22:45	米 サービス業PMI	6月	51.6
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	6月	54.0
7月7日	03:00	米 FOMC議事要旨(6/14-6/15)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.50-136.20	1.0200-1.0360	138.00-139.80

【マーケットインプレッション】

東京時間ドル円は135.85レベルでオープン。バイデン政権による対中関税一部撤廃期待によるリスクオン地合いでドル買いが強まり、136.36まで上昇した。海外時間序盤は米長期金利低下、欧州株の軟調推移からドル売りに転じ、135.57まで下落する展開。その後は米長期金利の動向を眺めながら方向感無く狭いレンジで推移し135.88レベルでクロース。

本日のドル円は軟調推移を予想する。昨日の欧州株の軟調推移を中心とした世界的な景気減速懸念によるリスクオフ地合いに、円買いの流れが継続するか。米ISM非製造業景況指数、サービス業PMI等の発表を控えており、弱い市場予想を更に下回るようであれば、ドル円の下押し圧力となることにも留意しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・上遠野